

会 議 録				
平成24年度第4回 社会教育委員の会議	日 時	平成24年8月22日(水) 午後3時～午後4時30分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	伊藤、小林、佐野、田尻、樹、中村、本川、本多、松田 各委員 欠席 倉持委員		
	その他	西田生涯学習部長、井上生涯学習課長、尾崎国体推進担当課長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 協議事項				
(1) 関東甲信越静社会教育研究大会について				
(2) その他				
2. 報告事項				
(1) 都市社連協理事会の報告について				
(2) スポーツ祭東京2013について				
(3) (仮称)貫井北町地域センター建設に係る進捗状況について				
(4) その他				
1. 協議事項				
(1) 関東甲信越静社会教育研究大会について (伊藤副議長)				
<p>それでは、定刻になったので会議を始める。まずは関東甲信越静社会教育研究大会についてである。できれば多くの委員で参加したいところだが、宿泊を伴うとどうしてもご都合がつかないという方もあって、今年の本川議長と佐野委員の2人が参加することに決定した。再確認させていただく。ではいいか、手続きをお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>わかった。</p>				
(2) その他 (本川議長)				
<p>ブロック研修会が10月28日に開催される。ここ数年は発表を3市でやっているのだが、今回は小金井市もその担当になっている。テーマが伝統文化や世代を超えた交流等についてであったので、事例発表として薪能を考えている。小金井囃子や貫井囃子も考えたが府中市でお囃子をやるということだったので、このように考えている。</p>				

皆さんにご異論がなければ薪能実行委員会にお願いしたいと思う。いかがだろうか。

(伊藤副議長)

それでよろしいと思う。

(本川議長)

よろしいか。それでは、そのようにさせていただく。ありがとう。関東甲信越静と日程が連続してしまう委員もいるが、宜しく願います。場所は府中市の生涯学習センターである。

## 2. 報告事項

### (1) 都市社連協理事会の報告について

(本川議長)

7月26日の木曜日の15時から稲城市の地域振興プラザにおいて開かれた。この間、会則改正等で問題があったことについて、役員会からの提案についてと、表彰受賞者が日の出町の委員に内定したという報告があった。他には各ブロックの研修会の日程確認があった。一番大きかったのは会則改正の問題である。平成23年度に多摩市が提起し、解決しないまま稲城市に会長市が移行してしまったので話が混乱しているが、4月に定期総会と研修が行われていたものを、4月は定期総会と表彰にし、12月は交流大会と表彰だったのが交流大会と研修会にしようというようなことが提案されて、協議の結果、提案どおりとしようということになった。平成25年度から新しいやり方になる。表彰制度の見直しについては、7年以上の委員は表彰状が廃止される。5年以上の委員に感謝状が贈られるという形になる。委員がかかわる優良な活動を行う個人や団体の推薦というのは実施しないということである。理事会については、これまでの形を継続することとなった。一番問題であった会則の改正については、多摩市、八王子市、府中市、それぞれに形態が違うが、規程に沿わないから排除するというような姿勢ではなく、何らかの形で仲間として入っておいていただくような形で対応をしたいということになっている。改正するか、改正しないか、継続審議とするかについては、今後各市意見を集約し再度検討することとなる。事務局から補足はあるか。

(事務局)

事務局から2点だけ補足させていただく。当日は東京都の担当者が出席しており、東京都の研修会に関して説明があったが、第5ブロックの研修会と日程が重なっていることがわかった。我々としては第5ブロックの研修会を優先させるような形で対応しようと考えているので、よろしく願います。議長から表彰規程の話があったが、現任の委員は任期が平成19年からであり、来年は5年の感謝状が対象となる。今年に関しては対象者がいないということで会長市に報告をした。以上である。

(本川議長)

ありがとう。会則の問題については社会教育委員という名称も含めて、法的な位置

付けのある機関なので、今後、社会教育委員について小金井市がどのように考えていくかということもあわせて考えていかもしれない。雑駁だが、報告させていただいた。何かご質問あるだろうか。では、なければスポーツ祭について。

(2) スポーツ祭東京2013について

(尾崎国体推進担当課長)

それでは、国体推進担当からご報告申し上げます。まず大会の名称だが、東日本大震災被災地復興支援第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会である。第68回国民体育大会バスケットボール競技のリハーサル大会として位置付けられている。8月11日から14日ということで、小金井市では13日までの準々決勝が行われた。会場は5市で小金井市では総合体育館を利用して実施した。主催は日本バスケットボール協会、全日本教員バスケットボール連盟、5市の教育委員会、5市の実行委員会である。競技運営については、東京都のバスケットボール協会が中心となって運営した。大会役員についてだが、小金井市長、議長、教育委員長等が入っているが、これは東京都等が設けた基準に沿って決定しているものである。小金井市では実施本部を設置し、事務局長として生涯学習部長、事務局次長として国体推進担当課長が入っている。実際の運営については、実施本部内に総務広報部会、交通輸送部会、会場部会の3部会を10班に分け、職員に関しては約100名を超える人員で運営をした。他にもスポーツ団体にお手伝い頂いている。競技はトーナメント方式で実施された、詳細は表のとおりである。観覧者数については第1試合が71人、第2試合が36人、第3試合が19人で、初日は126名の応援をいただいたということである。2日目、4試合あるが、13日14日の勝者が対戦した。観覧者数は177名であった。3日目の準々決勝で山口県と滋賀県のチームで対戦し滋賀県が勝ち、その後の準決勝、決勝に臨んだということである。全体的な実施報告だが、参加者については大会の役員関係の総数で624名、競技役員が215名、競技補助員が690名、競技係員が633名で、合計2,162名で運営されたということになる。選手団等は男子が619名41チーム、女子が378名24チーム、合計で1,068名の66チームで戦ったということである。競技結果については、男子が前回優勝した愛媛県教員、準優勝に千葉教員ということに決定した。女子は7年連続での優勝である。男女それぞれ上位2チームは11月3日から4日に開催される第8回全日本社会人バスケットボール選手権大会の代表として推薦され出場することになる。リハーサル大会は大きな怪我や事故もなく、順調に本大会を進めることができたので、ご報告を申し上げます。以上である。

(本川議長)

ありがとう。お疲れさまであった。観客席の様子はどうであったか。

(尾崎国体推進担当課長)

以前よりこの大会は観覧者が少ないと聞いていた。時期的にもお盆休みであること

を考慮しても、私が想像していたよりは少し多い印象であった。あくまで当初聞いていたよりは、だが。

(本川議長)

ありがとう。無事終了ということである。ありがとう。何か質問あるだろうか。

(田尻委員)

教員の大会だったか。

(尾崎国体推進担当課長)

そうである。

(田尻委員)

多摩地区、多分小金井からも多摩地区でやって、最終的に都大会で争って、都大会で優勝したチームが東京都のチームになるのか。その辺がどうなっているか。

(尾崎国体推進担当課長)

具体的なチーム編成の中身については私も聞いていないのだが。多分選抜ではないかなと思う。

(田尻委員)

わかった。

### (3) (仮称) 貫井北町地域センター建設に係る進捗状況について

(大関公民館長)

それでは、(仮称) 貫井北町地域センター建設に係る進捗状況について、簡単にご報告をさせていただく。中村委員からもご報告があったと思うが、(仮称) 貫井北町地域センター建設事業については、平成22年度の基本設計に引き続いて、平成23年度は実施設計に着手をした。6回の市民検討委員会を開催し、検討及び協議を行い、実施設計の概要版ができ上がったので、社会教育委員の皆様にもご配付をさせていただいた。なお、中村委員におかれては、約2年間、検討委員としてご協力をいただきましてまことにありがとう。今後の予定であるが、もう間もなく実施設計を終了して、予定どおり平成25年1月ぐらいから、約1年間かけて建設工事を行う予定である。なお、現時点では、予定どおり26年度から開館したいと考えているので、よろしく願います。以上である。

(本川議長)

中村委員、ありがとう。お疲れさまであった。それで、何かご質問はないだろうか。(「なし」の声あり) では、ないようなので次に移らせていただく。

### (4) その他

(井上生涯学習課長)

第2回社会教育委員の会議以降、7月18日の第3回で報告すべき事項もあったが、視察等もあり報告できなかったことも含めて報告する。この間、オリンピック等があ

って、多くの表敬訪問やパブリックビューイングを実施したので報告を行いたいと思う。まずオリンピック関係である。小金井市の出資するFC東京の徳永悠平選手と権田修一選手がオリンピックに出場するという事で、7月4日、小金井市交流センターの隣のコミュニティ広場で18時から激励会を行った。この激励会においては、ユニフォーム姿の小学生のサッカーチームや多くの市民の方が参加された。オリンピックの結果としてはベスト4という結果であった。次に、7月6日金曜日であるが、新体操団体で、小金井市出身でもある三浦莉奈選手の市長表敬訪問があった。表敬訪問の後に、8月9日の木曜日、夜の10時45分という遅い時間だが、小金井市交流センターでパブリックビューイングを行った。100人を超える市民の方々が応援したが、残念ながら三浦選手は出場しなかった。またこの日は、サプライズとして、既に帰国していた水泳の金田選手も応援に来られた。予選は8位という結果だったが、最終的には決勝まで進み、第7位という結果であった。7月30日、月曜日だが、今話をした小金井市出身で金田和也選手、競泳200メートルのバタフライについて、小金井市交流センターでパブリックビューイングを行った。200人を超える多くの市民の方々が応援して、見事に7位で予選を突破され、翌日に準決勝があり、朝4時、市役所庁議室で同じくパブリックビューイングを行って、40人超の方が応援した。結果、決勝進出はできなかったが、全体で10位という結果であった。三浦選手と金田選手については、8月20日にオリンピックの報告会を市役所庁議室で行った。競技結果の報告や感想、応援してくれた市民の感謝や今後の抱負など、市長に報告された。また、子供たちへのメッセージとして、金田選手は、夢は追いかけて続ければ実現できるので頑張ってもらいたいということ。三浦選手は夢と努力があって今の自分がある。夢があるなら努力してほしいというように語った。両選手の今後の活躍に期待する。続いて、パラリンピックに出場の小金井市在住の古畑篤郎選手の表敬訪問が8月21日火曜日にあった。古畑選手は車いす陸上競技の100メートル、200メートルに出場する。日本時間において9月2日に100メートルの予選、9月3日に決勝。200メートルについては9月8日、決勝については9月9日に日本時間で放送される予定である。その他にも市内チームの市長訪問が多くあって、6月22日には野球の小金井リトルシニアが東京都で3位になって東日本選手権出場。7月23日には女子ミニバスケットボールクラブが東京都大会で優勝し関東大会に出場。7月31日は小金井東小イレブンが東京都サッカー大会において優勝し関東大会に出場。これらのことが市長に報告をされた。小金井市としては、この間、多くのうれしいニュースを発信することができたということである。以上である。

(本川議長)

ありがとう。何かご質問あるだろうか。「なし」の声あり) ないようだったら、報告を。

(西田生涯学習部長)

私が事務取扱であるので報告する。以前の社会教育委員の会議において中村委員か

ら質問があった第2次小金井市子ども読書活動推進状況だが、小金井市の学校図書館の体制はどうかというご質問があって、保留になっていたと思う。指導室に問い合わせをしたところ、学校図書館運営にかかわる体制としては、学校図書館補助員、これは行政委託である。それから、図書ボランティア、市民の方、保護者、司書教諭となっているということである。図書館司書の配置という体制では取り組んでいないということである。なお、学校図書館の補助員、こちらは業者委託しているが、これは司書資格の保有者であることをその条件としているということである。以上、ご報告させていただきます。

(本川議長)

今の説明についてご質問あるか。(「なし」の声あり) ないようなら、松田委員から。

(松田委員)

視察研修について簡単に報告する。7月18日に町田市生涯学習センターを視察した。参加者はここに書いてあるとおりで、14名で行った。内容は町田市生涯学習センターの沿革について、先方の担当のほうから最初に説明があり、その後に質問事項に対する回答をしていただいた。質疑応答の後に、ほんとうに短い時間だったのだが、施設を見学させていただいた。以上である。

(本川議長)

何かあるか。

(伊藤副議長)

今回の視察見学に当たっては、事前に勉強をして質問事項をまとめて提出した。そういうことが施設を見学する側にとってもいろいろな意味で事前勉強ができたし、また、先方も質問事項を前もって用意してあったほうがいろいろな意味で答えるのも非常に答えやすかったのではないかなと思っている。この問題とはちょっと関係ないのだが、先ほど思い出したのだが、今度、貫井北町地域センターした場合はココバスを循環させるという計画は考えておられるのか。

(大関公民館長)

そういったお話はあったが、バス通りに面しておりバス停もある。競合してしまうし駅からも比較的近いので検討していない。

(伊藤副議長)

なるほど、あまり路線バスを邪魔してもいけない。わかった。

(本川議長)

ありがとう。

(本川議長)

8月15日に第5ブロックの代表者会議があったが、事務局から研修会について説明をお願いします。

(事務局)

第5ブロック研修会の案について説明する。統一テーマは『「絆－わたしたちの輝く

まちづくり」～“つなぎあい”は“にないあい”へ～』で第5ブロックのテーマは『「市民をつなぎ まちをつむぐ」～世代間交流にみる「学び返し」～』である。日時は平成24年10月27日（土）午後1時30分～4時45分、場所は府中市生涯学習センター2階講堂・研修室である。基調講演の後、事例発表が3市あるが、小金井市は三番目で14：55から15：10である。また、同センター1階にて懇親会がある。以上である。基本的には研修会、懇親会いずれも全員出席の予定である。

（本川議長）

ありがとう。ほかには、ないようであれば、第4回の社会教育委員の会議を閉会とする。どうもありがとう。

以上